

NEWS RELEASE

半導体レーザーの生産能力強化 都田製作所に新棟を建設 地鎮祭は5月10日

2023年4月26日

浜松ホトニクス株式会社

本社：浜松市中区砂山町 325-6

代表取締役社長：丸野 正（まるの ただし）

当社は、LiDAR（※）向けをはじめとする半導体レーザーの生産能力を増強し市場拡大に対応するため、都田製作所（浜松市北区新都田）に新棟を建設します。

新棟建設の地鎮祭は5月10日（水）に執り行い、2024年7月に竣工の予定です。

※ LiDAR：Light Detection and Ranging の略。対象物にレーザー光を照射し、その反射光を光センサでとらえて距離を測定するリモートセンシング技術。



当社では、計測や分析、加工、FA、メディカルなどの各分野に使われる半導体レーザーやレーザー発振器、各種レーザーを使った応用製品を開発、製造、販売しています。

現在、さまざまな場面で光を応用したセンシング技術が利用されています。その中でも、半導体レーザーを用いた非接触、長距離、高精度で対象物の位置と形状が測定できるLiDARは、自動運転のみならず、公共交通インフラや自動搬送、自律走行ロボットなどの多くの製品に使われており、今後の大幅な市場拡大が期待されています。

当社は今回、都田製作所に新棟を建設し、事業所内に点在しているウエハプロセス以降の半導体レーザーの後工程を集約するとともに、製造エリアを拡張することで需要の拡大に対応します。新棟では、製造工程間の作業動線を最適化するとともに、最新の製造装置や検査装置を導入し、工程の自動化や効率化を促進することで生産性向上を図ります。なお、新棟は耐震構造を採用し災害対策を強化するとともに、断熱構造や太陽光発電設備、高効率機器などの環境対策を積極的に取り入れた設計としています。

当社は、受光、発光の両素子を生産している世界でも数少ない企業であり、用途に応じた最適な素子を開発、製造し受発光素子をセットで提案できるという強みがあります。今後もこの強みを生かし、LiDAR向けをはじめとする半導体レーザーの売り上げ拡大を目指します。

新棟の地鎮祭および概要につきましては以下の通りです。

<地鎮祭>

式典名称 浜松ホトニクス株式会社 都田製作所 4棟 地鎮祭
日 時 2023年5月10日（水） 午前10時00分～
場 所 静岡県浜松市北区新都田1-8-3

<新棟概要>

建物名称 都田製作所 4棟
建築場所 静岡県浜松市北区新都田 1-8-3
建築工期 2023年5月着工、2024年7月竣工予定
稼働予定 2024年10月
建築構造 鉄骨造、地上4階
建物面積 建築面積 1,780 m²、延床面積 6,720 m²
施設構成 1階 組立、検査（クリーンルーム）
2階 組立、検査（クリーンルーム）
3階 検査、評価
4階 設計・製造事務所、会議室
総工費 約40億円
収容人員 約160名
生産品目 半導体レーザー
生産能力 約2,500万個／年間（シングルチップ換算）



都田製作所 4棟 完成予想図

この件に関するお問い合わせ先

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 野末迪隆
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail: nozue-m@hq.hpj.co.jp
時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします